

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野こども療育推進事業
事業主体 (連絡先)	長野こども療育推進サークル ゆうテラス 〒399-8288 安曇野市豊科 3100 県立こども病院しろくま図書館内 電話 0263-73-6700 内線 1602
事業区分	② 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,245,862 円 (うち支援金 934,000)

事業内容

①歯科検診 前年度に引き続き松本歯科大学障害者歯科学講座の協力を得て実施した。受診51名。うち1名は治療の必要があったので訪問診療に切り替え、主治医立会いの下に治療を行った。

②情報発信 小児療育情報誌「あしあとてらす」の発行を継続した。毎号1000部作成、県内市町村・在宅療養支援病院・訪問看護ステーション・重心児を受け入れている福祉事業所等に配布した。厚生労働省の事業で県からこども病院が受託している小児等在宅医療地域連携拠点事業でも紹介された。特に、相談支援専門員研修の記録は、こども病院の上記事業に取り込まれ、全県の相談支援専門員の資質向上に役立ててもらったこととなった。気管切開ケアマニュアルDVDはこども病院形成外科と小児外科の医師の協力と監修の元、信頼性の高いものができた。



厚労省・他都県視察にて活動を紹介された

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

①歯科検診：今年度3月からはこの事業をこども病院が引き継ぎ、病院の事業として行った。ICUでの看護ケアに口腔ケアが必須項目として入ったり、口腔ケア研修が拡充されたり、とこども病院内の意識向上につながった

②情報発信 あしあとてらす取材や支援者・家族の会に参加する中で多くのご縁＝連携と情報共有関係ができた。また、支援者間・地域間の情報交換や情報共有が進み、長野県や各圏域の自立支援協議会療育部会では重症心身障害児・要医ケア児についての取り組みが明文化されるようになった。また、新たな患者会(地域ごとの会や18トリソミー児)の発足や既存の家族会との連携も進み、それぞれを行政や福祉などをつなぐことで、支援者間・支援者→家族・家族同士、といった多層・多面的な支援の在り方が生まれてきた。

③全体を通して 課題の可視化の手法や様々な職種のキーパーソンとのつながりを、こども病院の行う小児等在宅医療地域連携拠点事業の下地作りに生かしたことで、同事業の順調な多職種連携を創出でき、市民活動とのリンクでの成果は全国のモデルとなる、との思いがけない評価を得た。

【目標・ねらい】

- 歯科検診による口腔ケア意識の向上
- 情報収集と発信による多職種相互理解・連携の促進
- 重症心身障害児；とくに医療的ケアの必要な児についての啓発

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

今後の取り組み

○新たに生まれた家族会や既存・各地域の家族会とも相互協力関係が生まれた。この家族会との輪を、私たちの構築した医療・福祉・教育・行政など職域を超えた支援者との輪につなげていく

○地域医療や福祉・療育・教育とつながれていない高度医療の現場に外からの情報を届けるとともに、福祉や教育の現場で重症心身障害児・医療的ケアの必要な子どもたちを「支える人を支える」仕組みを作りたい